

■ 今回の新しい傾向の1つとして、折り紙からのインスピレーションが感じられる。ファブリックスだけでなく、紙や成形形でも多く提案されていた。クオリティー全体としては、一見はシンプルな方向へソフトしているものの、よく見ると凝った物が多いのがポイント。手仕事のニュアンスは、より洗練された職人技的な仕上がりになって来ている様に感じる。

折り紙インスピレーション

今年は一気に、折り紙のインスピレーションを持つ、クオリティーが出始めた。実際に折られた物、プリントで表現された物、折り紙風に成形された物など、様々な手法で表現されている。



紺タッチ

よりシンプルな紺表現が多くになっている。中にはプリントで表現されている物もあるが、今年は、トランスベラントのタイプでも登場。また、陶器での紺表現アイテムが新しさを加えている。



手織りフィーリング

手織りもしくは、手織り風のザックリ感のある厚い織物が増えている。柄行はovershot(ドビーで柄を表現する/パターン)のイメージが強い物が今年風。



マルチストライプ

細いマルチストライプを、様々な表現で見る事が出来た。プリントでタッチを付けた物が新鮮に見える。ベルベット、バイルなどでも表現されている。



アニマル・クロコダイル

アニマル系やクロコダイルパターンを使用したクオリティーが登場。ファー素材、ジャカード、皮革(型押し)が多かった。



■ パターンに関しては、ジオメトリックやデジタルプリント系のものが相変わらず多い。その中でも今年の傾向として、四角(スクエア)、三角(トライアングル)を意識したものが、突出して多くなっている。テスト的には、少しカジュアル感のあるモダンに新鮮さを感じる。デジタル表現では、グラデーションタイプがとて多く、無地調の仕上がりの物が多い。モチーフとして特筆したい物は、鳥や羽柄。今後増えると予想している。

スクエア・トライアングル

特にトライアングルなパターンが増えている。表現方法としては、正統的にプリントが多いが、中にはパッチワークやアップリケ、フックなど幅広い事も特徴と言える。色使いとしては、多色の物が主体となっている。



ジオメトリックパターン

ジオメトリックパターンとしては、曲線や優しいラインを使用した物が多い。シンプルな中に、緩さがプラスされているイメージの物が新鮮。カラーリングも2~3色使いが主体となっている。



デジタル〜グラデーション

デジタルのグラデーション表現としては、無地もしくは、無地ライクとして使用できる物が、増えている。種物パターンで特に目を引いたものは、①の様な、ポスター的な表現。



羽&鳥

今後、増えそうな予感のする羽&鳥パターン。リアルな物から、イラストタッチな物まで幅広い。



ナチュラルタッチ

自然のテクスチャーを取り上げたプロダクト。今年は更に完成度がアップしている様に感じる。

